

平成29年度「第二次三重県行財政改革取組」 上半期の進捗状況について

「第二次三重県行財政改革取組」は、「協創・現場重視の推進」「機動的で柔軟かつ弾力的な行財政運営」「残された課題への的確な対応」を3つの柱として、取り組んでいるところです。

本取組の進捗状況については半期ごとに取りまとめ、県議会に報告するとともに、ホームページなどを通じて県民の皆さんへ公表することとしており、今年度の上半期（4月～9月）の実績を、資料1-1別表のとおり取りまとめました。

1 具体的取組の上半期実績

【協創・現場重視の推進】

○協創による事業・業務の実施を促進する仕組みの構築（別表 番号2）

庁内の協創事例を集約したポータルサイトについて、掲載内容を充実させるとともに、職員研修での紹介やメルマガへの掲載等、さまざまな機会を通じて、職員への周知を図りました。

【機動的で柔軟かつ弾力的な行財政運営】

○機動的で柔軟かつ弾力的な働き方改革の推進（別表 番号4）

平成29年度のワーク・ライフ・マネジメントにおける推進項目の一つとして、「時差出勤勤務」について、具体的な実施内容や実施時期について労使で検討を行い、試行的に実施しました。

（実施期間 平成29年6月1日～平成29年9月29日）

○機動的な財政運営の確保（別表 番号5）

県財政の健全化に向けた具体的方策として、「三重県財政の健全化に向けた集中取組」を策定しました。

具体的な取組として、「県有施設の見直しについて」、「クラウドファンディング活用指針」及び「使用料、手数料の見直しについて」を策定するとともに、外部資金利活用のための情報提供に取り組みました。

【残された課題への的確な対応】

○意欲の向上に向けた組織風土づくり（別表 番号7）

職員提案制度について、職員が改善提案を行うための事例を集約した「MIE職員力ポータルサイト」の運用を開始するとともに、MIE職員力アワードについて、優良事例の水平展開に向けた検討を行いました。

2 年次計画に対する進捗状況

上半期経過時点（9月末）では、具体的取組のうち、平成28年度に達成済みの4項目を除き、今年度の年次計画により進行している7項目すべてについて、ほぼ計画どおり進捗している状況です。

下半期につきましても、引き続き適切な進行管理に努め、年次計画及びロードマップ（工程表）に基づき、着実な推進を図ります。

また、既に達成済みの取組においても、定期的に実績等を確認しながら、取組にかかる成果の維持・向上に努めます。